

COVID-19 予防対策に関する情報をいただきましたので、参考になさってください

国際ロータリー2600 地区 PDG：長野 RC

関邦則（関建築とまち研究室）

横山英子さん（長野県立大学・健康発達学部・食健康学科教授）から頂いた情報

今週、私なりに色々調べた結果、現時点で漏れている対策があることを知りました。消化器症状もこの感染症の症状であること、そしてそれに由来する糞口感染についても注意する必要があります。感染者の便の中にウイルスが存在して、それが水洗のフラッシュで飛び散り、それを吸い込んだり、あるいは衣服に付着して、そこを手で触って顔に触れると感染します。

新型コロナウイルスは、我々の細胞に侵入する際に ACE-2 というタンパク質に取り付くのですが、そのタンパク質は肺よりも胃、小腸、大腸といった消化器官に多く発現しています。つまり、消化器官の方が、ウイルスが取りつきやすいのではないかと推測できます。ですから、発熱等の呼吸器の症状が出る前に、下痢などの消化器症状が先に出ている事例や、全く発熱等の呼吸器の症状がない事例も PCR 陽性となるという事例が報告されています。アメリカでは、この事実に気づき、Newsweek 等の一般メディアが警鐘を鳴らし始めました。日本では、相変わらず飛沫感染対策しか頭にありません。おそらく、現状を簡単には変えられないと思いますので、自衛しましょう。

糞口感染で一番危険なのは、トイレです。不特定多数が使用するトイレ、特に蓋のないトイレがリスクが高いと思います。うちでもよく触るところを、次亜塩素酸の希釈液で拭いて消毒しています。特に、金属表面、プラスチック表面ではウイルスが長生きするようです。

不特定多数の人が利用するところ（スーパーなど）でのトイレ使用はできるだけ避け、お店に入る時よりも出るときに、アルコールでよく消毒することが大切です。

それからこのウイルスは、熱には弱いので、加熱調理した食事は安全だと思います。

4月17日
横山英子